

第2回 横浜市保土ヶ谷スポーツセンター 指定管理者選定委員会会議録	
開催日時	令和3年8月23日(月) 13時00分～15時30分
開催場所	保土ヶ谷区役所 3階 301.302 会議室
出席者	<委員>伊藤委員長、堀委員、竹下委員、広田委員、吉原委員 (計5名) <事務局>椎葉課長、李係長、佐藤、田村 (以上4名)
欠席者	無し
開催形態	公開(傍聴者:5名) ※議題3以降非公開
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 応募団体面接審査 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プレゼンテーション</li> <li>(2) 質疑応答</li> </ol> </li> <li>3 意見交換、評価シート記入</li> <li>4 指定候補者の決定</li> <li>5 特筆すべき提案について</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 事務局から、選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について説明。</li> <li>2 応募団体面接審査  【横浜FC・シンコースポーツ・相鉄企業共同事業体(応募団体A)】 (1) プレゼンテーション 応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施 (2) 質疑応答 委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施 主な質疑応答の内容は以下のとおり  ----- 委 員：民間のノウハウを応用されているが市と民間との違いは 応募団体：管理している施設が公共施設の管理に特化している。 公共施設の特徴は色々な世代の方が来る。ある層に絞るより数多くの方に喜んでいただくために数多くの取り組みをすることが必要である。  委 員：収入に見合った形の計画か。 応募団体：今回の提案は実現可能と考えている。それに基づく経費も計上している。 現在ワクチン会場で使用されておりお客様が戻ってくるか分からない面もあるが長期休館前は利用者が多い。収入も実績を踏まえて出来ると考えている。  委 員：トイレの洋式化について 応募団体：施設の印象としてトイレの綺麗さが重要と考える。そのあたりを整備することで快適性の向上・利用促進につながる。</li> </ol>

委員：トレーニングルームのマシンを全部入れ替えすることについて金額的にどうか。

応募団体：リース契約とする。費用的にも問題ない。他施設でも導入している。最初機器を入れ替えたときは、変わったと反応があるが。慣れてくると今までのよりも良かったという声がある。

委員：障害者の立場としてトレーニング室スペースが狭いことがある。そのようなスペースも考えて設置されるのか。

応募団体：コロナ禍でもあるので感染予防の配慮及び障害者の方が利用しやすいように間隔を開けて配置する。使い方が分からない方についても、利用講習会や個別対応をする。

委員：スポーツ推進委員としての活動は何があるか。

応募団体：区内全域に対してスポーツをする場の提供。スポーツの指導派遣。大会・イベントでのボランティアが中心。スポーツ推進委員と連携してどのような事ができるか検討している。

委員：保土ヶ谷レシートキャンペーンは港北区でも実施しているのか？

応募団体：代表団体が独自に実施している。保土ヶ谷区で実施中。実際に商店街と連携を図りながら実施している。地域内消費活動促進がひとつで、これまではスポーツクラブの観戦チケットを抽選でさしあげたりしていた。指定管理者という立ち位置になったときにスポーツセンターを知っていただくことが重要と考えており、新たに施設の無料体験チケットを景品として施設に来てもらうきっかけを作っていきたい。

委員：魅力的だが公共性を考えたときにどうか

応募団体：代表団体は行政（保土ヶ谷区）と協定を結んで活動しているので、その点については、担保されているのではないかと考えている。行政と連携して商店街を盛り上げようとやらせていただいている。チケット当選については調整ができていると考えている。

委員：配置予定人数について、正規雇用職員・臨時職員の勤務体制はどうなっているのか。

応募団体：1日のローテーション例として責任者を常に2～3人、受付スタッフ2人、トレーナーも1日を通して2～3人いる。

委員：前述の職員の中に高齢者や障害者をサポートする方はいるのか。

応募団体：今回要件として含まれている障害者スポーツ指導員の配置は含まれている。

---

(3) 応募団体の財務状況について、吉原委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

(4) 事務局から、応募団体が応募資格を有すること及び暴力団経営支配法人等に該

当しないことについて報告。

**【公益財団法人 横浜市スポーツ協会（応募団体B）】**

(1) プレゼンテーション

応募団体によるプレゼンテーションを約 15 分実施

(2) 質疑応答

委員からの質疑と応募団体による応答を約 15 分実施

主な質疑応答の内容は以下のとおり

委員：レンタル用品について、コロナ禍で返却された衣類はどうするのか？

応募団体：現在ウェアの貸し出しはしていない。ボールは返却後に消毒をしている。

委員：ヘルスプロモーション事業は始まっているのか。

応募団体：団体の運営施設ではすでに実施している。第 4 期に向けて、保土ヶ谷区では区内の病院やかかりつけ医との連携を考えている。

委員：工事とコロナで離れた利用者をどうするか。

応募団体：以前から来ていただいたお客様に加えて、スポーツセンターの魅力を様々な角度からプロモーションしていき新しい客の獲得を計画している。

委員：トレーニングマシンの更新割合はどれくらいか

応募団体：有酸素系のトレーニングマシンをリニューアル予定（トレーニング室にあるものの半分）で具体的にはバイクとトレッドミルを更新。

委員：積極的な自主事業拡充によって収入を増加させるとあるが、応募書類の収入の金額をみるとあまり収入増になっていない。具体的にはどのような方法でどの程度の収入を見込んでいるのか。

応募団体：自主事業（自動販売機・ヘルスプロモーション・早朝夜間ジム）、星川・天王町エリアの人口が増えているので、働く世代に向けて通いやすくなるよう夜間プログラムを増やすなど、着実に収入を増やしていきたい

委員：新たな企業との連携で今までできなかったことは具体的に何か。

応募団体：保土ヶ谷区がまちづくりとして星川天王町エリアを活性化していきたい事について、私たちも参画したいと考えている。スポーツセンター近くにある野村不動産とエリアマネジメントをしていきたい。

委員：高齢者向けの魅力的なプログラムはあるか

応募団体：シニア向けのプログラムとして介護予防、姿勢改善プログラムを以前から実施。ケアプラザや地区センターに出張してはまちゃん体操やウォーキングのプログラムを展開している。

委員：一番強くアピールしたい点は何か。

応募団体：提案内容を着実に達成したいが、ヘルスプロモーション事業で付加価値の高いスポーツセンターになりたいと考える。お客様に来ていただいて、得ら

	<p>れた収益を安全・快適な施設にするために投資する。区全域へのスポーツ健康作りのリーダーシップを取って様々な団体と連携しながら展開していくこと。</p> <p>-----</p> <p>(3) 応募団体の財務状況について、吉原委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。</p> <p>(4) 事務局から、応募団体が応募資格を有すること及び暴力団経営支配法人等に該当しないことについて報告。</p> <p>(5) 事務局から、現指定管理者の管理運営状況について説明。</p> <p><b>3 意見交換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募団体Aは協定を結んでいる強みを生かした提案だったと思う。</li> <li>・ 施設を綺麗にする具体的な提案は応募団体Aの方があった。</li> <li>・ 応募団体Bは利用者本位だったと思う。</li> <li>・ 応募団体Aは指定管理料をそこまで下げることができるのだろうか。応募団体Aは設備管理も共同事業体がやるからでは。</li> </ul> <p><b>4 指定候補者の決定</b></p> <p>各委員の評価点を集計した結果は次のとおり。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">1位</td> <td style="width: 75%;">横浜FC・シンコースポーツ・相鉄企業共同事業体</td> <td style="width: 20%;">476点／575点</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>公益財団法人 横浜市スポーツ協会</td> <td>472点／575点</td> </tr> </table> <p>1位及び2位の団体が加減点項目を除く最低基準点（315点）を満たしているため、  <u>横浜FC・シンコースポーツ・相鉄企業共同事業体</u>を指定候補者として、  又 <u>公益財団法人 横浜市スポーツ協会</u>を次点候補者として 決定した。</p> <p><b>5 特筆すべき提案の決定</b></p> <p>指定候補者の特筆すべき提案は「なし」として決定。</p>	1位	横浜FC・シンコースポーツ・相鉄企業共同事業体	476点／575点	2位	公益財団法人 横浜市スポーツ協会	472点／575点
1位	横浜FC・シンコースポーツ・相鉄企業共同事業体	476点／575点					
2位	公益財団法人 横浜市スポーツ協会	472点／575点					
資 料	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 選定委員会の進め方等について</li> <li>(2) 横浜市保土ヶ谷スポーツセンター指定管理者選定委員会名簿</li> <li>(3) 席次表</li> <li>(4) 選定委員会 当日スケジュール</li> <li>(5) 現指定管理者運営実績資料</li> <li>(6) 現指定管理者運営実績評価シート</li> <li>(7) 応募書類</li> <li>(8) 評価シート</li> <li>(9) 確認書（応募団体との利害関係について）</li> </ol>						